

Q	A
弟子支援は単年度だと理解している。2年目以降、資金だけではなく伴走支援的なサポートが受けられる可能性はあるか。	DENTOと連携する株式会社TCI研究所では通常業務として伴走支援業務を行っており、場合によってはTCIにて支援可能である。
京都以外の地域からも応募可能か。	広く日本全国から応募可能。
支援プログラムへの申し込みに国籍の制限はあるか。	日本の伝統工芸に携わっていれば国籍・人種は問わない。
伝統食材は対象か。	今回は伝統工芸のみ対象。
アワード①は写真での審査になるか	その通りである。
審査員は誰が務めるのか。	NPO法人の代表者および理事が務める。
若手職人支援の採択は1件のみなのか。	今年は1件のみだが、来年以降増やす可能性はある。
応募は一団体あたり1件に限られるのか。	1件に限ってはいないが、常識の範囲内の件数で応募いただきたい。
新商品は製品化できないものでも良いのか。	現実的ではない商品というよりは、実際に使える/作れるものをご応募いただきたい。
アワード①②は他工芸とのコラボで応募しても良いのか。	応募可能。
若手職人支援プログラムの応募年齢制限はあるか。	制限は設けていないが、一定期間その工芸に従事できる年齢が望ましい。
プログラムに応募することによってツアー受入をすることに繋がる可能性があるのか。	可能性はあるが、旅行先として適しているかどうか、別途検討・判断することになる。
応募するだけでなく、支援することもできるのか。	NPO法人では寄付も受け付けているので、支援が可能。
プログラム申請者としての団体とは、組合も含まれるのか。	組合でも応募可能。
アワードの対象はこれから作るものか、すでに作ったものか。	アワード①はすでにできているもの、アワード②はまだできていないものが対象。